

2025年

北秋田市オーダーメイド型企业研修ご提案書

阿仁マタギの里でのチームビルディング&ウェルビーイング



事務局 佐々木 宗純



地方の素材で

企業の成長を後押しする

地域課題最前線、秋田で体感するリアルな学び

北秋田版企業研修

モニターツアー参加企業

を募集します

事業実装に向けたアンケート、アドバイスにご協力いただきます



目 次

- 01** 北秋田版企業研修の目標
- 02** 目指す企業研修
- 03** 開催場所
- 04** 現地研修概要
- 05** 研修スケジュールの例
- 06** 実施までの流れ
- 07** 予算
- 08** 過去の実績

01

北秋田版越境型研修の目標

我々のビジョン

学びと遊びで成長する北秋田市

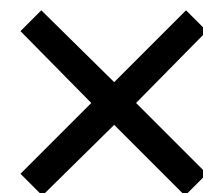


02

目指す企業研修

地域課題・地域素材

(人口減少/人材不足/マタギ/日本三大樹氷など)



企業目的

(チームビルディング、SDGs、地方創生 など)

地域も企業も成長できるオーダーメイド型研修

企業研修の例 ○=今回のターゲット想定

01 チームビルディング

対象：1年目～2年目社員

[特徴]

チームで協力して仕事を進めることの大切さを学び、チームワークを強化する。

[目的]

チームのパフォーマンス向上

02 中堅研修

対象：中堅マネージャー

[特徴]

不変化の激しい時代においては、柔軟な思考と行動力を持ったリーダーシップが求められる。

[目的]

異文化環境でのリーダーシップ経験を通して自己理解を深め、リーダーとしての成長を促進。

03 リーダー研修

対象：将来のリーダー候補

[特徴]

組織の多様化が進み、異なるバックグラウンドを持つ人々と協力して仕事を進めることが求められる。

[目的]

多角的な視点と多様性への理解を深める。

04 ウェルビーイング

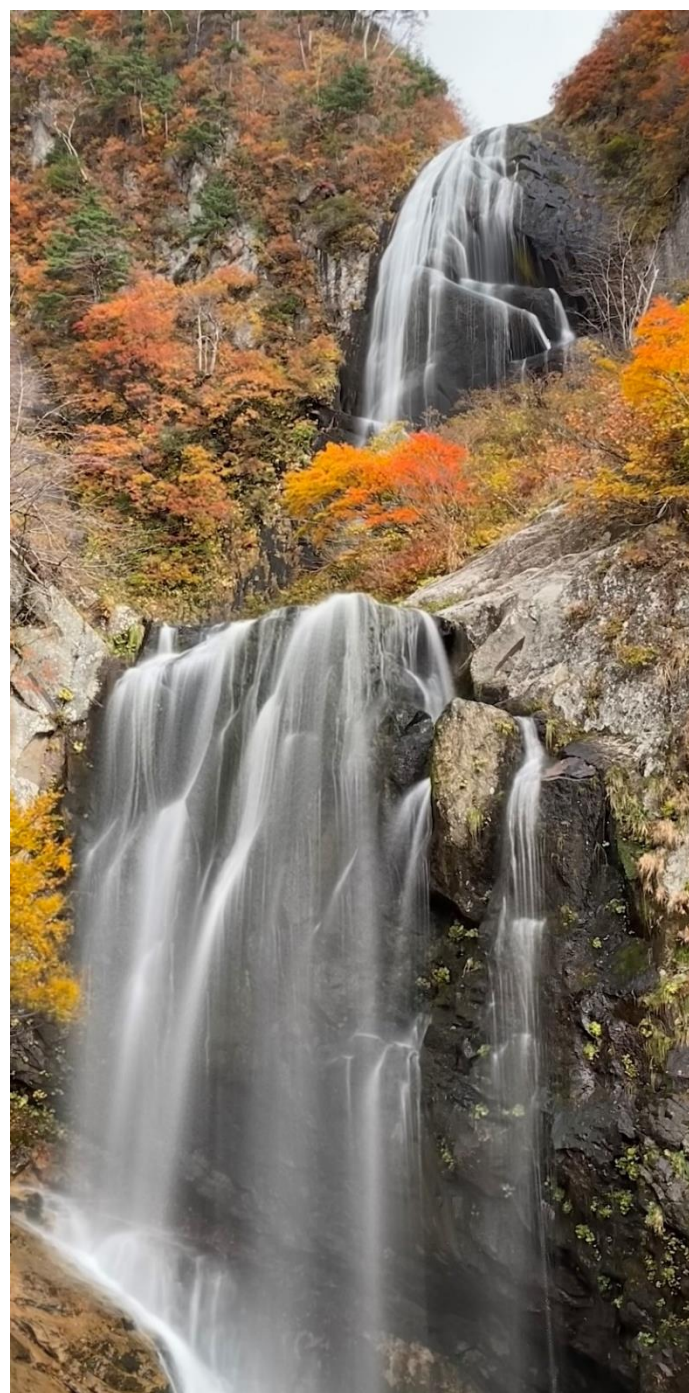
対象：全社員

[特徴]

ウェルビーイングを重視する企業文化を醸成することで、従業員同士のコミュニケーションが円滑になり、ポジティブな職場環境が築く。

[目的]

従業員の健康増進とパフォーマンス向上
(ウェルビーイング研修)



地域素材

企業目的

マタギ文化

×

チームビルディング

マタギ文化体験型チームビルディング研修

変化の多い社会環境では「役割分担だけではない、相互の信頼と即応力」が不可欠です。本研修は、秋田県阿仁地方に受け継がれるマタギ文化（集団狩猟の知恵と規律）をフィールドワークとワークショップで体得し、“緊張感の高い状況下で築かれる究極のチームワーク”を現代ビジネスに転換することをテーマとします。

マタギ文化の特徴	チームビルディング上の学習ポイント
全員がリーダーを持ち回り	リーダーシップ / 主体性
出発前の役割と危険共有の儀式	目標・リスク・責任を言語化するコミュニケーション文化
一撃の失敗が全員の生死に関わる	心理的安全性とフィードバックの即時性
自然資源を枯らさない掟	サステナビリティ思考・長期視点
獲物を余さず分配する分業と評価	公正な成果配分と相互承認

03

実施場所

研修は現地研修とオンラインでの事前研修のハイブリッド形式で実施

01 オンライン事前研修(1時間)

[プラットフォーム]

ビデオ会議

[対象]

研修参加者

[内容]

- ・研修目的の明確化
- ・取り組む課題および事前情報の共有
- ・不安な点等の確認

02 現地研修(2泊3日※移動含む)

[場所]

秋田県北秋田市阿仁地域

[宿泊]

打当温泉 マタギの湯

[研修場所]

阿仁比立内がっこステーション / 宿泊施設内 他

- ・プロジェクター
- ・ホワイトボード
- ・Wi-Fi ※地域内一部利用不可



マタギとの現地学習を通して研修目的を達成

[概要]

3日間の集中コース
マタギとの現地学習を通して
五感でのスキルの習得を目指す



01

研修目的の明確化とオリエンテーション

研修のゴールを参加者で共有、確認し
目的達成のための取り組みと地域の情報について学ぶ。

- ・ アイスブレイク
- ・ 座学、意気込み共有、質疑応答 等

02

マタギとの現地学習

企業の目的に応じてマタギとの現地学習を行います。机上やネットでは感じることはできない五感を通じた体験で目的の達成を目指す。

- ・ マタギとの山歩き
- ・ マタギ食文化の体験 等

03

現地学習の振り返りと研修の評価

現地学習で体感した学びを自身の言葉で言語化するとともに
参加者同士の対話で得た新たな気づきや発見で目的の達成度合いを評価する。

- ・ ワークショップ
- ・ グループ発表、意見交換、自己評価 等



現役マタギによる講話。

先祖代々自然との共存を続けてきた

マタギの生き方や知恵を学びます。

激しく変化し続ける自然と向き合い続けてきた

彼らの思想を知り、変化の激しい現代社会に

適応するための心得を獲得します。

語りの内容については

マタギの歴史、思想、山での体験、後継者問題など

研修の目的に応じて柔軟に対応いたします。



山菜採集や溪流釣りなどを通して、自然と向き合う体験。
マタギの「とりつくさない」思想は
現代のSDGsの考えに自ずと結びついてきます。

季節やその年の天候に応じて、体験の内容は変化します。
環境による営みの変化もまた、マタギの生き方の一部です。



熊や鹿などの野生鳥獣の肉を解体したり、食したりします。
野生の動物たちと正面から向き合ってきた
マタギから「いのち」との向き合い方を学びます。
私たちの日常に「あたりまえ」にある食が
「ありがたい」ものであると知ること
で価値観の変容や自己内省を促します。

参加者の希望に応じて、解体せず食事のみの対応も可能です。
「誰かが解体した」と意識づけることがこの体験の目的です。

04

現地研修の概要 現地学習例④グループディスカッション



地域課題の解決方法や、狩猟という行為の意義などをテーマに、意見交換をします。

ファシリテーターとして地域住民であるマタギに参加していただくことで、より深みのあるディスカッションに導いてもらいます。異なる意見を出し合い、考えを伝えあうことによって、課題解決のための思考力の向上や議論のスキルアップにつなげます。

この研修でどのようなスキルを身に着けたいか、オンライン事前研修で確認させていただいたうえでテーマを設定いたします。

04

現地研修の概要 現地学習例⑤振り返り



本研修を通しての変化について

定性的・定量的に振り返ります。

振り返りシートを活用し、数値的变化や内面的変化

今後の仕事への還元方法などを書き起こすことによって

学びや変化を視覚的に捉えられるようにします。

研修が今後の活動の礎となるための大切な時間として

研修の最後に実施させていただきます。

現地コーディネーター 益田 光(Ko Masuda)



プロフィール

広島県広島市生まれ。秋田県北秋田市阿仁地区在住。

東京農業大学で植物学を学んだのち

林業大学校で林業を学ぶ。

修了後は北秋田市へ移住し、マタギの道に。

阿仁・打当マタギとしてシカリとともに狩猟する

傍ら個人事業「もりごもり」を開業。

クロモジ茶など森林資源の商品化に取り組むほか、

地域の公民館長も務める。

自然への情熱と地域に対する愛情を胸に

地域に根ざした多様な取り組みを発信している。

事前研修

時 間	内 容
1h	オンラインによる 事前研修 ・研修目的の明確化 ・取り組む課題 事前情報の共有 ・不安な点等の確認

現地研修の1カ月前に開催

1日目

時 間	内 容
08:55	羽田空港発
10:05	大館能代空港着
10:57	秋田内陸線鷹巣駅発
11:56	阿仁合駅着～昼食
13:00	オリエンテーション 参加者顔合わせ アイスブレイク @阿仁合駅2階
15:32	阿仁合駅発
15:58	阿仁マタギ駅着 ～Work or 自由行動
18:00	宿へ移動 夕食
	1日目終了

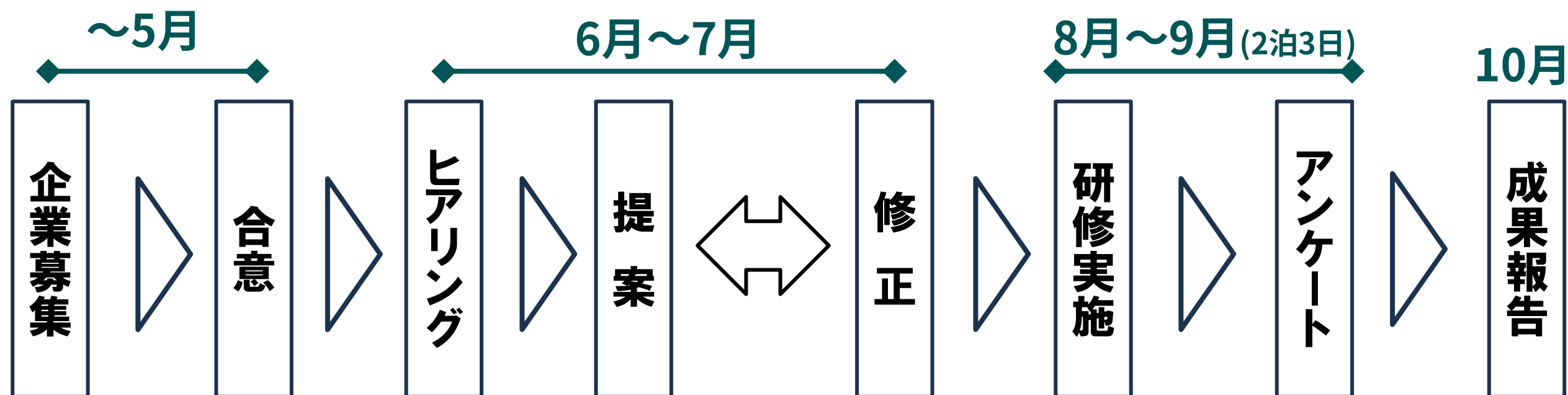
2日目

時 間	内 容
09:00	Work or 自由行動
10:00	マタギによる現地研修
12:00	昼食
13:00	マタギによる現地研修
16:00	Work or 自由行動
18:00	マタギ・地元住民との 懇談(熊鍋をいただく)
	2日目終了

3日目

時 間	内 容
09:00	Work or 自由行動
10:00	ワークショップ① 研修振り返り 学びの共有
11:50	阿仁マタギ駅発
13:07	鷹ノ巣駅着 →13:15バス乗車 大館能代空港
14:00	ワークショップ② 研修自己評価 研修前後の共有
15:00	事業実装に向けた ディスカッション 研修のブラッシュアップ
17:00	Work or 自由行動
18:30	大館能代空港発
19:50	羽田空港着
	全行程終了

それぞれのペースに合わせ自社業務にも
取り組める時間を設けます。



○ヒアリング～ご提案

ヒアリングをもとに、オーダーメイドで研修プログラムの概要をご提案いたします。
随時お打ち合わせ、行程の見直しを行います。

提案内容に納得いただいた段階で
契約いたします。

○研修実施～アンケート

到着～出発まで関係者がアattendいたします。
突然のトラブルや要望にもできるだけ
お応えできるよう体制構築いたします。
研修終了後は実装に向けたアンケートに
ご協力お願いいたします

○成果報告

修の内容や当日の写真などを送付いたします。
研修の成果と次回への課題をフィードバック
し、御社の成長の材料をお渡しします。

モニターツアーのため一部研修費用を補助

北秋田市のワーケーション等実施支援補助金も併用可能 1 企業または 1 団体あたり連続 2 泊以上、原則 3 名以上：5 万円

No.	項目	金額(税込)	補助使用後(税込)
1	参加者宿泊費 (朝食昼食夕食各2回含む) 宿泊費 1人当たり10,000円/泊 (1企業あたり上限10万円) Ex.5人×20,000円/泊×2泊 補助	¥200,000 ※一部補助	¥100,000
2	参加者交通費 交通費 1人当たり10,000円 (1企業あたり上限5万円) Ex.5人×交通費往復40,000円 ※空港、新幹線利用等	¥200,000 ※一部補助	¥150,000
3	体験プログラム造成費	全額補助	¥0
4	参加者アテンド費	全額補助	¥0
5	研修費	全額補助	¥0
6	報告書作成費	全額補助	¥0
7	企画造成費	全額補助	¥0

¥250,000

企業が求める**注意力・判断力・危機管理能力・洞察力・俯瞰力の習得**をテーマに
自然共生が当たり前に存在するマタギ文化から生き物としての人間の存在価値や
多様性の受容を五感で捉え、学ぶ研修を実施

モニターツアー行程



北秋田森吉ウエルカムステーション
プロジェクトのイメージを捉えたステーションで、
森吉山の自然を堪能。秋田内陸縦貫鉄道阿仁合駅2F



地域の方々と一緒に夕食



北秋田市移住定住ネットワークセンター



がっこステーション

参加者からの声

Aさま（地域ブランディング業務）
地域の方との会話を通じて自分自身も
地元を考えるきっかけになった

Bさま（観光推進業務）
秋田内陸縦貫鉄道から見た自然の美しさに感動。
他者との価値観の違いに気づき改めて
自分を見つめ直すきっかけとなった

Cさま（地域ブランディング業務）
異業種の方と関りながら一つの成果を
作り上げることの大切さを学んだ

Dさま（地方創生推進業務）
普段と違う自然環境豊かな地での
仕事、没頭、集中できると思えた



1日目のワークショップ。自身の強みや弱みに関する自己分析や価値観ゲームを行った。ワークショップの最後には、本プログラムで各々の行動目標を設定し、メンバー間での発表を行った。



1日目の夕方、マタギの鈴木英雄さん、益田光さんを講師に迎え、マタギの文化に関するお話を伺った。翌日の山歩きに関する注意事項などの説明も行われた。熊の毛皮を着る体験も行った。



秋田内陸縦貫鉄道の阿仁合駅にて内陸線の取組や電車の案内をしていただいた。内陸線にも県外からの移住者がおり、移住に関するお話もしていただいた。



2日目の夜は、参加者と事務局と地域の方で平八にて夕食会を実施した。地元の食材を味わいながら、2日間の振り返りを行った。



からみないキャンプ場の山歩き。マタギの鈴木英雄さんや益田光さんからマタギが普段歩く道や周囲の植物について案内をしていただいた。



山登りの後は、マタギの鈴木英雄さんのガレージにてマタギの道具を紹介いただいた。



がっこステーションにてワークショップの最終日。3日間のプログラムを通してどんな自分に出会えたか、全員が発表を行った。プログラムで感じた気づきや課題をもとに、明日からどのように行動するかをそれぞれが考える時間となった。



1日目の行動目標と3日間の気づきを付箋にまとめた。終了後は、事務局と参加者の間でモニタープログラムに関する意見を共有し、本プログラムは終了した。